おとうさんへの
しつもん

こおりやましりつあさひがおかしょうが
っこう一ねん
ぼくは、まとうさんに、どしゃさいがいっ
てなあにときいてみました。
こはまちのでこうがいのいなかだらけがいいな
いなろうといいました。とてころがみかあさん
はそんなことないわ。そうだなとおとうさんは
をガッこうへおくってくときやまみちをいく
とおるじゃないとうろのそばはやまよそ
ういえはそうだなあしとみとうさんにのんびり
りおかあさんはあさひがおかしょうがっこう
いたいうというこをぼくはなつやすみよくテレビ
ビてやってました。みているとすごいあめがふ
みじかいじかんにふってこうずいをこしています。
ます。
ぼくは、あるあさのすずしいあめがぜんしょうこ
うすいたいかなあというと、おとうさんは、
おおげさなことというなよと、のんびりテレビ
をみていた。

なつやすみ、こうさくにつかうのりをおかあさんとかいにいくことになりました。
いろのすながとうろにひろがっていました。
「あぁ、やまのすながよごれました。
かえりみち、てのどうろをとおると、さっきのとこが、ちゃいろいすなでうまっていました。
かえって、テレビをつけたら、パトカーやきゅうきゅうしゃが、ぼくがとおったあのどうろにとまっていました。
ぼくは、「おかあさん、あのとき、けいたいでれんらくすればよかったね」
おかあさんが、あおおにのようになっていました。